



千葉県
かじやま歯科クリニック

梶山 崇
先生

今回のアイテム

プレミスをを用いた白歯部の充填

コンポジットレジン

物性の向上や、隣接面形態の3次元的な形態の付与が可能なマトリックスが登場しました。これにより、当院では間接法の適応とオーバーラップするようなケースにおいても、即日修復が可能で、歯質の切削量が少なく、さらにコスト面でのベネフィットがあるコンポジットレジン修復治療が白歯部修復治療の選択肢として増えています。

コンポジットレジン修復を成功させるためには、信頼できる接着システムを用い、ラバーダム防湿下での確実な接着操作が大切です。

私はテクニカルエラーが起きにくく安定した接着力が得られる方法として、リン酸でエナメル質を処理した後、セルフエッチングプライマーとボンドを行う歯質接着システムを好んで使用

しています。

エナメル質にはゲルエッチャントを使用します。濃い紫色の液は歯質と見分けやすく、細かいシリンジタイプなのでフロアブルレジンを扱うような操作で、隣接面窩洞にも簡単に塗布できます。

オブチボンドXTRのプライマーは歯質との馴染みがよく、専用のブラシを使うことで小さい窩洞でも気泡を作らずに塗布できます。

アドヒージブは安定した高い接着強度がありながら、均一でとても薄い被膜を形成するため、研磨後、コンポジットレジンと歯質との調和がとて良好であることを実感できます。また間接法にも使用できるので接着システムを統一できることも、嬉しいポイントです。

プレミス/オブチボンドXTR/ゲルエッチャント



1. 術前。不適合マージン部に二次カリエスが認められる。



2. ゲルエッチャントでエナメル質のみを限局的にエッチング。



3. オブチボンドXTRプライマーを、軽く擦り込むように塗布。



4. プレミスの充填後。各咬頭ごとにビルドアップしたのち、ステインを入れた。カラープラス(ブラウン)使用。



5. 咬合調整及び形態修正はカーバイトバーを使用。



6. 567コンポジットレジン充填の完了。